

乳がん検診・子宮がん検診を受けましょう！

◆子宮がんとは？

子宮がんは、子宮の入口の部分(子宮頸部)の粘膜にできる子宮頸がんや、子宮の奥の部分(子宮体部)にできる子宮体がんがあります。

【症状】

不正出血、黄色または血性のおりものなど

【子宮がん検診】

黒潮町では、平成24年3月31日において満年齢が偶数年になる20歳以上の女性を対象に子宮がん検診を実施しています。

検査方法

問診と医師による内診(子宮の触診)、細胞診(綿棒のようなものでこすって細胞を採取)を行います。

医師による内診と細胞診の検査時間は、ほとんどの方が数分で済みます。

※黒潮町で実施する子宮がん検診では、子宮頸がんや異形細胞(正常でない細胞)を発見することができですが、子宮体がんを発見することはできません。

子宮体がんを正しく診断するためには別の検査が必要です。不正出血など気になる症状があ

る方は婦人科のある医療機関を受診してください。

◆乳がんとは？

乳房は脂肪や血管、神経のほかに、乳管などの乳腺組織からなります。乳がんのほとんどはこの乳腺組織に発生します。

【症状】

乳房にしこりがある、乳房が陥没する、乳頭(乳首)から血が混じった液が出るなど。

【乳がん検診】

黒潮町では、平成24年3月31日において満年齢が偶数年になる40歳以上の女性を対象に乳がん検診を実施しています。

検査方法

乳がん検診では乳房X線検査(マンモグラフィ検査)を実施しています。マンモグラフィ検査は乳房をプラスチックの板に挟んで撮影します。

また、乳がん検診時に自己検診法について説明をしています。

【自己検診法】

自己検診は月経終了後の時期に実施します。閉経後は、毎月、日を決めて行います。

見て確認

乳房を鏡に映し、両腕を上げたり、下げたり上半身をねじったりして乳房全体を見ます。(乳房の形や、くぼんだり、ただれていないかなど。)

触って確認

わきの下も含めて乳房のふくらみまで円を描くように触り、しこりがないか確認します。(そろえた3〜4本の指の腹で、指を少しづつずらしながら「の」の字を書くように触ります。ろっ骨を感じるくらいの強さが目安です。)また、

乳頭(乳首)と乳輪部を指でつまんで分泌物はないか確認します。入浴時に石けんをつけて行うとスムーズに触れます。

しこりを感じたり、気になる症状がある方は、乳腺などの専門の医療機関を受診してください。

◆若い年齢の方も注意！  
20〜30歳代の若い女性でがんが発見されるケースが増えています。また、子宮頸がんの発生率は、50歳以上の中高年齢層ではこの20年間で減少してきていますが、20〜24歳では約2倍に、25〜29歳では3〜4倍に増加しています。

◆がん検診推進事業(女性特有)

平成23年度は「がん検診推進事業(女性特有)」を実施します。対象年齢に該当する女性に対して検診クーポン券を送付します。対象となられた方はがん検診が無料になります。(対象年齢は左記の表を参照してください。)

◆定期的に検診をうけましょう！

子宮頸がん・乳がんは初期のうちには自覚症状がほとんどありません。検診で発見されるがんは早期の段階で発見されています。早期に発見し、治療をすれば、治癒率も高いと言われています。

自覚症状がない方も定期的ながん検診を受診し、がん予防に努めましょう。

問 本庁健康福祉課保健衛生係

43-2836(直通)

佐賀支所地域住民課保健センター

55-7373(直通)

がん検診推進事業(女性特有)

対象年齢

乳がん検診	
年齢	誕生日
40歳	昭和45年4月2日～ 昭和46年4月1日
45歳	昭和40年4月2日～ 昭和41年4月1日
50歳	昭和35年4月2日～ 昭和36年4月1日
55歳	昭和30年4月2日～ 昭和31年4月1日
60歳	昭和25年4月2日～ 昭和26年4月1日
子宮がん検診	
年齢	誕生日
20歳	平成2年4月2日～ 平成3年4月1日
25歳	昭和60年4月2日～ 昭和61年4月1日
30歳	昭和55年4月2日～ 昭和56年4月1日
35歳	昭和50年4月2日～ 昭和51年4月1日
40歳	昭和45年4月2日～ 昭和46年4月1日